

2008 年

8 月 3 日（日曜日） - ロマンに満ちた丹後の歴史伝説の瑞気溢れるエネルギーとともに「ドラゴンカヌー選手権大会」「フェスタ飛天」「網野カップ少年サッカー大会」同日開催に寄せて -

本日、2008「京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会」（第 19 回）が久美浜町で、「フェスタ飛天」（第 17 回）が峰山町で、及び「網野カップ少年サッカー大会(2 日～4 日)」（第 22 回）が主に網野町でそれぞれ盛大に開催されました。それぞれ合併前の旧町時代から代表的な行事・祭りとして発展せられてきたものですが、それぞれの大会ともに、丹後地方に古くから伝わるロマンに満ちた歴史伝説をモチーフやご縁にして開催されています。

久美浜では、中世の時代、かの一遍上人が久美の浜を訪れ念仏を唱えられると、突然、海中から大きな龍が出現したという昇竜伝説が伝えられており、また、古代古墳から環頭に龍を象った非常に珍しい太刀が出土したり、また秀峰として名高い当地の高龍寺ケ岳にも龍伝説が残っています。このように久美浜には龍にまつわる伝説が数多く伝えられています。また、「ドラゴンカヌー大会」は、伝説の龍のエネルギーにあふれた久美浜の地で、広く中国・四国や京阪神など近畿各地から参加された 100 クルー以上の龍頭船首のカヌーにより競技が龍気一杯くり広げられます。

峰山では、日本三大羽衣天女伝説の一つで日本最古とも言われる羽衣天女伝説・七夕伝説が伝承されており、「フェスタ飛天」はこの伝説をモチーフに、出会いと交流をテーマとして広く地域内外から延べ 3 万人の参加をいただきにぎやかに開催されています。伝説の中では当地の羽衣天女様は一杯飲むと万病も治ってしまうというお酒づくりが得意であられたということで、華やかなよさこい演舞とともに健康的で美味しい出し物で賑わいます。

また、網野では、昔から広く日本で親しまれている浦嶋伝説が伝えられ、浦嶋太郎を祀られる嶋児神社、網野神社、六神社、乙姫様を祀られる西浦福島神社、太郎の顔のしわが投げられ残る"しわ榎"の老木の存在など、浦島の風がそよ吹き満ちるまちです。「網野カップ少年サッカー大会」は、広く京阪神・近畿各地から参加 100 チームにもものぼる壮大なスケールで開催されていますが、全 11 会場の主会場である八丁浜芝生広場サッカー場がある網野・八丁浜には、その一角に伝説中の浦嶋太郎こと嶋子様をお祀りされる嶋児神社が立地されており、本大会と深いご縁がうかがわれるかのようです。

丹後・京丹後市には、これらの伝説伝承以外にも、スサノオノミコト伝説や鬼退治伝説、元伊勢伝説など様々な伝説が今に伝世されており、総じて我が国の文化文明の起源に関わるようなロマン溢れる歴史伝説の宝庫です。このことから、丹後・京丹後地域が瑞祥の日本の文化文明の起源発祥にかかわる思想やエネルギーに深く所縁を賜って

いる一つのあかしに感じていますが、本日、縁係りの祭りと行事が市内各地で同時一斉に開催を重ねるこの機縁に、本市内外のできるだけ多くの皆様に、日本文化文明の発祥にかかわるような丹後・京丹後の本来の素晴らしいエネルギー、自ら潜めもつ瑞気溢れる大きな活力と底力のその一端にでも改めて気づき導かれ、そして現代に再発見していただいて、丹後・京丹後の持続的で力強い再活性化への弾みへと紡いでいく一助となることができますよう心から祈っております。